

JCP OGAKI はんざわ REPORT

コロナウイルス関連生活相談ホットライン開設します！

日本共産党大垣市委員会 TEL 0584 - 78 - 6865 (10:00 ~ 17:00)
FAX 0584 - 73 - 8572 (終日)

自粛と補償はセットで！市民生活は切実です。

日々刻々と、コロナウイルス感染情報がでてきます。東京をはじめとして各地で外出自粛要請がでています。不安のなかでの出勤、店舗の開店、買い物など、皆さん感染予防を心掛けながら社会生活を続けているさなかだと思います。この市政報告が皆さんの手に届くころには、どのような事態になっているのか、本当に先の見えない状況です。

日本共産党は、「自粛要請をするなら補償と一体で」と国会の予算委員会で国会議員団が求めています。首相は、3月28日の会見でやっと「給付」を言い出したものの、問題になるのはその規模と内容。「自粛とそれによって生じる損失を補填することは、単なる経済対策としてではなく、感染を防止するうえで欠かせない」と主張します。

大垣市政はどのような取り組みをするか。 —底力が問われます。

災害対策としては、水害や地震を想定していて、今回のような感染症対策は初めてのことです。経済支援は、国がしっかりと行うことが不可欠ですが、生活や医療についての様々な課題が今後でてくることが予想されます。「隔離とつながり」でこの難局を乗り切ることになるでしょう。

小中学校の休校問題では、大垣市では、おばあちゃんたちも総出で子どもたちをあずかり乗り切った面もありました。小学校が、4年生までの働く親さんの子どもたちの居場所として短い期間でしたが機能しました。これからも、大垣市政に市民の英知と努力を反映させていくことで感染症被害を最小限に食い止めることができるように日本共産党大垣市議団も働きます。



原則休館中の図書館です。子どもたちが、絵本の表紙を見ながら読む本を決めていくことも多いことから、どんな本を読んだらいいのか迷うことも出てきます。そうした中で、英字新聞でかわいくラッピングされた福袋のような「お楽しみセット」が準備されていました。司書さんたちの底力を感じる取り組みです。

3月議会のご報告

3月議会では、一般質問と反対討論を行いました。内容は下記のものであります。



一般質問の様子

《 一般質問 》

- ・小中学校の一斉休業措置と子どものケアについて
- ・「垣老」対象を71歳から74歳とする条例改正案について
- ・第三次子育て支援計画について

《 反対討論 》

- ・大垣市出産祝金支給条例一部改正について
(第3子以降、現行10万円→5万円へ)
- ・大垣市老人医療費助成金条例の一部改正について
(対象年齢下限を現行70歳から71歳への引き上げ)

令和2年(2020年)度予算議会の採決結果

3月議会は、大垣市の政策を方向付ける令和2年(2020年)度予算を審議する議会でしたが、大垣市出産祝金支給条例一部改悪や大垣市老人医療費助成金条例の一部改悪が突如提案され、検討についての説明も十分ではないため、反対の立場で臨みました。採決結果は下記の通りです。

賛否が分かれた主な議案

議案	会派	大垣市議会	自民クラブ	市議会公明党	民主クラブ
	日本共産党 市民ネットワーク	自由民主党 緑風会			
垣老の対象年齢引き上げ	×	○	○	○	○
出産祝い金(第3子以降)の削減	×	○	○	○	○
競輪場改修に係る費用補正予算	×	○	○	○	○

※ 反対・・・× 賛成・・・○

抜き打ち的な改悪提案に 議会での説明や議論を軽視する大垣市の姿勢が見て取れます。日本共産党大垣市議団として、市政をチェックし、市民の皆さんの声をしっかりと議会に届けていきたいと思っております。

※訂正 先月号(第53号)で、安倍首相が全国一律休校を要請したのは3月27日ではなく、2月27日の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

発行者：日本共産党大垣市議団 発行日：2020年4月1日(第54号) 連絡先：大垣市室本町5-8 TEL (0584) 78-6865 FAX (0584) 73-8572	はんざわ多美 教育福祉委員 市民病院に関する委員 E-mail hancyan_tamicyan@yahoo.co.jp URL https://hanzawatami.net	
--	--	--

JCP OGAKI としや REPORT

どうなる競輪場再整備計画35億円！？

再整備ではなく撤退への道筋を！

新年度予算では、競輪事業基金等から約4億円を取り崩し、管理棟改築等工事費が計上されています。

第一期工事(22億円)、第二期工事(13億円)の総額35億円の再整備計画。経済産業委員会にて質疑を行いました(右図イメージ画像)

財源は今後10年の黒字。はたしてうまくいくのか？

市はその財源を、「基金19億円、繰越金とあわせて約30億円ある。これと起債をくみあわせる。毎年6億円の黒字を見込み、1億円は市に繰り入れ、4億円は基金に積み立てていく」と説明しています。

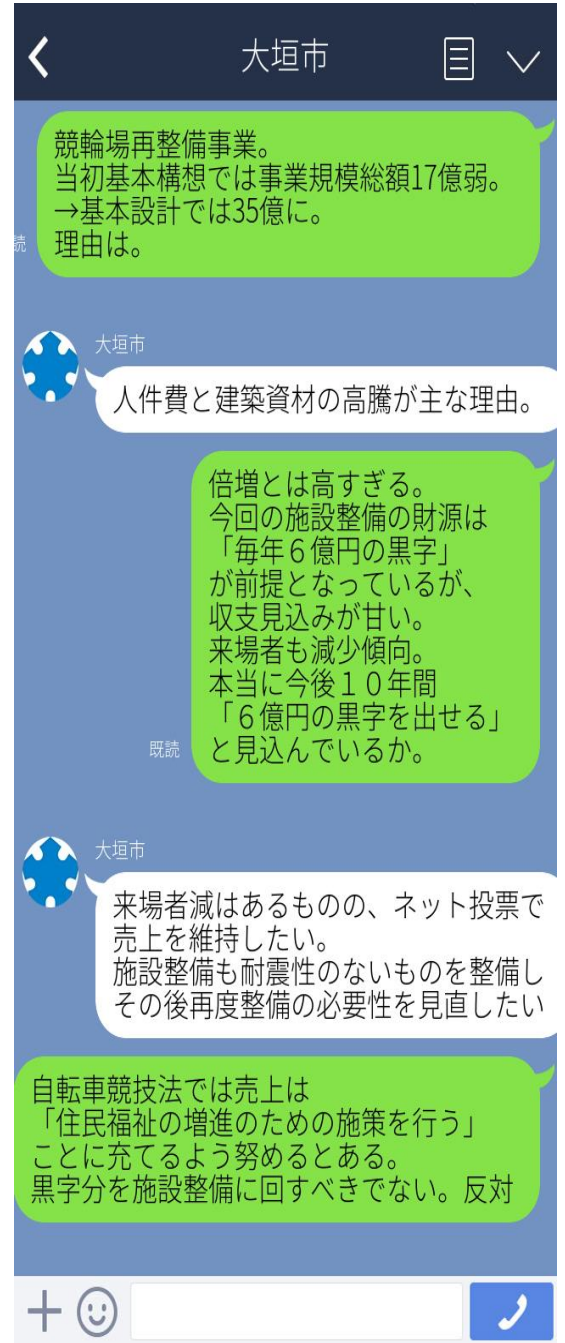
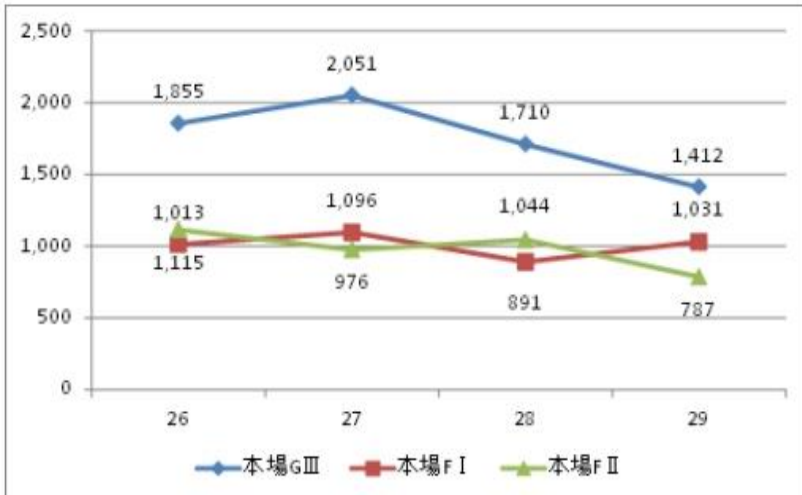
果たして今後10年、収益を保ち6億円の黒字を維持できるのでしょうか。確かに黒字が続けば、市にも1億円出せて福祉の増進のための活用ができ、再整備費用の投資も回収することができるかもしれません。

しかし、収支見通しについて再整備基本構想では「収入は横ばいに推移するものと設定します」との文言が並び、精査が必要です。競輪のお客さんが減る中(下表。競輪事業基本構想より)で、収入が保てるとは思えません。

【図1-10 グレード別入場者数の推移】

(単位：人)

D 本場開催



日本共産党大垣市議団は、「競輪はスポーツとしての健全な発展が求められている、公営ギャンブルとすべきでない」と考え、また、施設整備分は福祉に充てるべきで競輪事業の予算には、反対しました。

